

東スタが新ブランド、福王寺彩野を起用

TSI ホールディングス傘下の東京スタイルが今秋、新ブランド「Oui, Ayano Ruban (ウイ, アヤノ リュバン)」をデビューさせる。福王寺朱美アーカー代表の一人娘の福王寺彩野をクリエイティブ・ディレクター兼PRディレクターに起用。コンセプトは「大人になったお嬢さま」「個性」「品格」「等身大のラグジュアリー」。リボンモチーフをアイコンに、黒やピンク、超ミニスカートやジュエル付きのワンピース、フリル付きニット、ツイード、フィット&フレアのスタイルなど“彩野ワールド”が満載だ。「幼い頃からハイブランドに触れ、10代でマルキーブーム、20代でファストファッションも経験した、30代以上の大人の

女性が満足できるアフォーダブルラグジュアリーブランドを目指す。キレイに見えるシルエットや着心地にこだわった」と福王寺。価格は1万~40万円と幅広く、パーティ用もカジュアルも部屋着も用意。「マヌーシュ」などのセレクトアイテムや、食器やジュエリー、オリジナルのキャンドルや香水なども揃えた。

ブランド開発のきっかけは、家族ぐるみで付き合いがあった高野茂 TSI ホールディングス取締役からの電話だ。高野取締役は「新しい販路やビジネスモデルを持ったブランドの開発を課題に挙げる中で、彩野の顔が浮かんだ。ブランドのコンセプトや世界観を明確に持ち続けるためにも、一気に多店舗化するのではなく、ネットと路面旗艦店で商売をスタートする。彼女の名前もブランド名に入れたり、相当の覚悟で臨んでいる」と

いう。福王寺は30代突入を機に「アーカー」のロサンゼルス進出を現地で手掛けたり（現在は NY に移転）、陶芸の本格化や、欧州を拠点に美術館巡りをするなど、次のステップのための準備を進めていた。個人でのブランド立ち上げも検討していたが、商品本位主義を打ち出し、工場も持ち、納得できるモノ作りの体制がある東京スタイルとの協業を決めた。ネット先行型で、8月8日にプレオープン。路面旗艦店は表参道（渋谷区神宮前6-2。原宿サウスキャットストリートから一本明治通り寄りで、「カイラニ」の並び）の新築ビル1階・約41坪に11月1日に開店する。その後は、ポップアップストアなどを中心に、O2O（オンライン・トゥー・オフライン）を推進。半期で売上高2億円、2014年度に5億円、3年後に10億円を目指す。福王寺が持つ芸能人やメディアの人脈を生かしたり、顧客とのガラパーティを企画するなど双向型のファン作りにも注力する。

MODEL: SAVAKA KANDA



左：福王寺彩野とプライベートでも仲の良い神田沙也加もブランドコンセプトに共感し、モデルとして参加 上：福王寺彩野クリエイティブ・ディレクター兼PRディレクター（左）と高野茂 TSI ホールディングス取締役